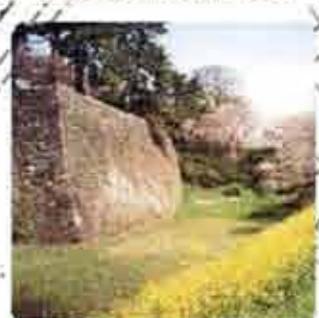


久留米城本丸



東西 96.4m、南北 156.4m、石垣高約 15m。中央に御殿、周囲は7つの橋を二層の多間橋で連結した。



⑥京隈小路

上級藩士の武家屋敷が140軒ほど立ち並んだ。

●梅林寺

有馬家の菩提寺。「久留米藩主有馬家墓所」は国の史跡。そのうち「有馬家墓塚五棟」は国の重要文化財でもある。

●水天宮

建久年間(12世紀)の創建といふ。現在の社地は2代藩主忠頼が寄進。幕末勤農志士・真木和泉守を出す。

⑨洗切

正保2年(1645)に住民を隣下町に移し、港の御船手方の居住地とした。隣下と並ぶ城下の川筋。

①本丸

本丸御殿で久留米藩21万石を統治する政治が行われた。現在、石垣や堀が残る。現在、石垣や堀が残る。

●篠山神社

初代豊氏ら有馬家の当主5柱を祀る。社殿は明治12年建立。



②二ノ丸

藩主とその家族が生活する二ノ丸御殿や、御馬廄などがあった。

●大栗駒荷神社

豊氏が丹波から久留米城内に移す。篠山神社境内や日吉神社境内にも伝わる。



③三ノ丸

家老など藩臣の武家屋敷が並び、藩の年貢米を保管する御永蔵が置かれた。

●三ノ丸堀跡

現在、歩道の両側に往時の土手の痕跡が残る。

④外郭(四ノ丸)

上級士族の屋敷や、蔵校、通の役所が置かれた。

●祇園社

祇園会は城下町3大祭りの1つで、幸運行列は藩主やその家族も見物した。



●旧三島家長屋門

元は外郭の梶村家の長屋門で、明治時代に通町の三島家に引き継がれた。平成13年度、現在地に移転。



●明善堂

7代頼徳の遺志を継いで、8代頼義が設立した藩校。

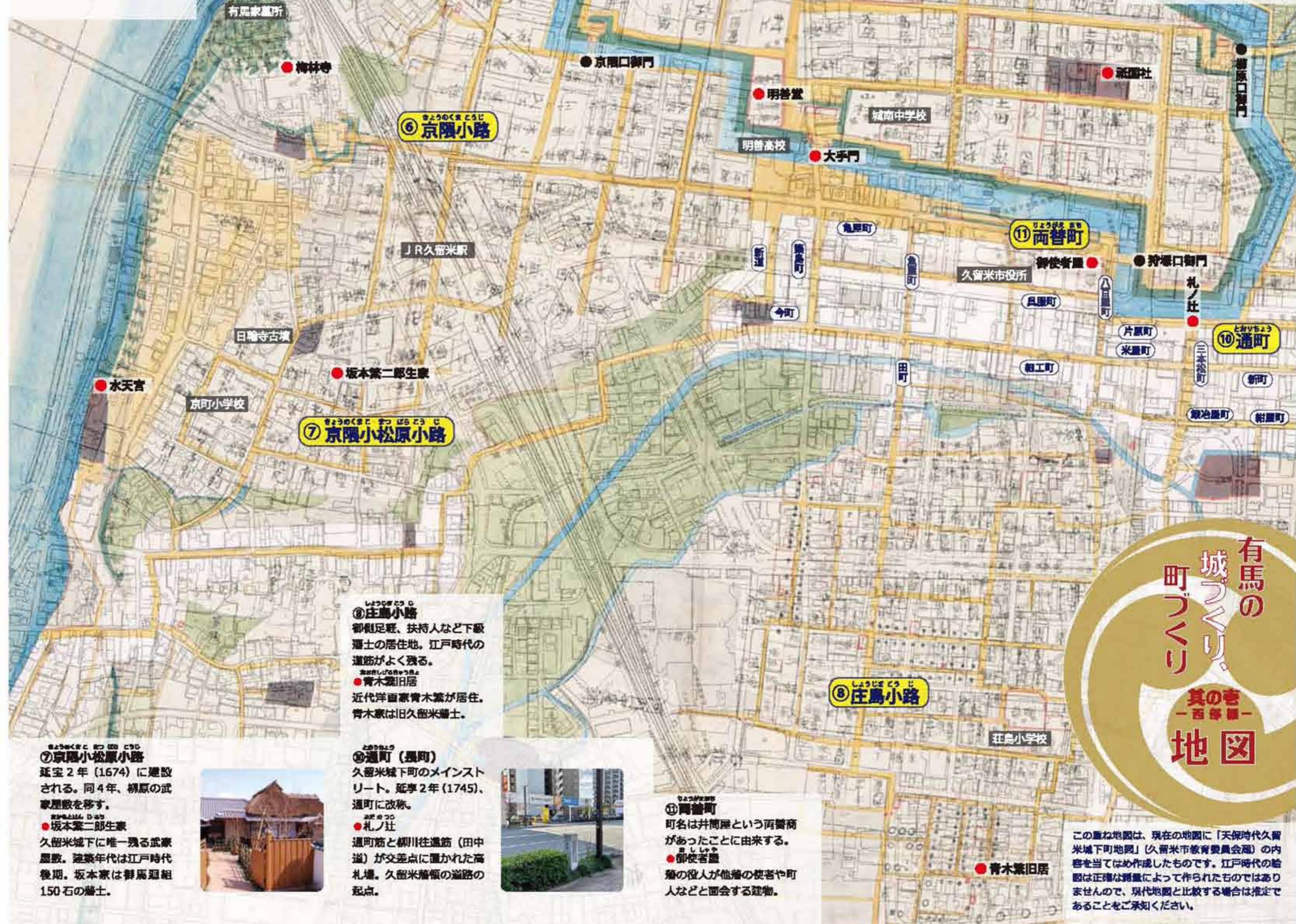
●大手門

久留米城の正面玄関口。現在、篠山神社の鳥居が立つ。



⑤柳原

延宝4年(1676)、水害対策のため、武家屋敷は城外の京隈小松原小路に移転させた。藩主の庭園や、9代頼徳の御庭焼「柳原焼」の窯がつくられた。



城づくり
町づくり
有馬の
真の姿

—西郷郷—

地図

この重ね地図は、現在の地図に「天保時代久留米城下町地図」(久留米市教育委員会蔵)の内容を当てはめ作成したもので、江戸時代の範囲は正確な面積によって作られたものではありませんので、現代地図と比較する場合は注意を